

# 令和3年度第1回 益田市障がい者自立支援協議会 全体会次第

日時：令和3年8月3日（火）15:00～16:30

会場：益田市役所 大会議室

- 1 開会
- 2 福祉環境部長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 新任委員の委嘱について
- 5 副会長の選任について
- 6 障がい理解促進部会長・副部会長の指名について
  
- 7 報告事項
  - (1) 令和2年度第3回全体会書面報告による回答について (資料1)
  
- 8 議題
  - (1) 第6期益田市障がい福祉計画・第2期益田市障がい児福祉計画について (資料2)
  
  - (2) 第5期益田市障がい福祉計画・第1期益田市障がい児福祉計画進捗管理について (資料3)
  
  - (3) 令和3年度 各部会の取組について
  
  - (4) その他
  
- 9 閉会



令和3年度益田市障がい者自立支援協議会委員名簿

<協議会委員>

所 属	職 名	委員名	備考
障がい者支援施設ラポール宝生苑	施設長	牧原 直也	
益田市障害者福祉センターあゆみの里	施設長	小石 敏明	
障がい者支援施設 希望の里	施設長	望月 浩幸	
相談支援事業所ぷらっと	管理者	池永 綾子	
益田市身体障害者福祉協会	会長	岩本 悟	
益田市手をつなぐ育成会	監事	露口 慎二	
益田地域家族会	理事	澤江 功一	
益田圏域難病患者・家族連絡会	共同代表	水上 真一	
株式会社きのこハウス	代表取締役	山口 育美	
NPO法人きずな ひまわり家	所長	隅田 典宏	
正光会 松ヶ丘病院	統括部長	枡本 典子	
益田地域医療センター 医師会病院	リハビリテーション科長	広瀬 強志	R3.8～変更
地域生活支援センターポケットプラザ	所長	後藤 美穂子	
益田障がい者就業・生活支援センター エスポア	所長	青木 浩文	
正光会 サポートセンターFOH	施設長	檜谷 佳誉子	
益田市基幹相談支援センター	相談支援専門員	野村 健	R3.4～変更
西部島根医療福祉センター あゆっこ益田	係長	入江 直樹	
益田圏域相談支援コーディネーター		大畑 史絵	
益田市民生児童委員協議会	女性代表	杉内 伸代	
島根県西部発達障害者支援センター ウインド	副センター長	石田 英巳	
益田市社会福祉協議会	地域福祉部長	中島 克仁	
島根県益田保健所	所長	長崎 みゆき	
益田公共職業安定所	統括職業指導官	渡辺 克知	
島根県益田児童相談所	判定保護課長	石飛 美登里	
島根県立益田養護学校	校長	八束 政義	R3.4～変更

## 令和3年度 益田市障害者自立支援協議会委員 専門部会

### ■就労・社会参加支援部会 部会長:青木 副部会長:隅田

団体名	委員部会所属
(福)希望の里福祉会 エスポア	所長 青木 浩文
NPO法人きずな ひまわりの家	所長 隅田 典宏
益田公共職業安定所	統括職業指導官 渡辺 克知
(株)きのこハウス	代表取締役 山口 育美
益田地域家族会	理事 澤江 功一
益田地域医療センター 医師会病院	リハビリテーション科長 広瀬 強志
正光会 サポートセンター-FOH	施設長 檜谷佳誉子
島根県西部発達障害者支援センター ウインド	石田 英巳

団体名	氏名
島根県立益田養護学校	城市 由佳里
益田保健所 保健師	三浦 来美
フルール益田	清水 幸子
島根県障がい者就労事業振興センター	大地本 夏

事務局

障がい者福祉課	坪島 宏明
	大庭 一晃

### ■障がい福祉人材育成部会 部会長:牧原 副部会長:大畑

団体名	委員部会所属
(福)梅寿会 ラポール宝生苑	施設長 牧原 直也
(福)E.G.F 相談支援事業所ぶらっと	管理者 池永 綾子
益田圏域相談支援コーディネーター	大畑 史絵
島根県益田児童相談所	判定保護課長 石飛 美登里
西部島根医療福祉センター「あゆっこ益田」	係長 入江 直樹

団体名	氏名
益田保健所 保健師	廣野 真理子

事務局

障がい者福祉課	桐木 純子
---------	-------

### ■障がい理解促進部会 部会長:中島 副部会長:望月

団体名	委員部会所属
益田市基幹相談支援センター	相談支援専門員 野村 健
(福)はぴねす福祉会 あゆみの里	施設長 小石 敏明
正光会 松ヶ丘病院	統括部長 柘本 典子
(福)希望の里福祉会 希望の里	施設長 望月 浩幸
地域生活支援センターポケットプラザ	所長 後藤 美穂子
益田市手をつなぐ育成会	監事 露口 慎二
益田圏域難病患者・家族連絡会	共同代表 水上 真一
島根県立益田養護学校	校長 八束 政義
益田市社会福祉協議会	地域福祉部長 中島 克仁
益田市民生委員児童委員協議会	女性代表 杉内 伸代

団体名	氏名
益田保健所 保健師	江角 彩楓

事務局

障がい者福祉課	城市 唱子
	三好 光太

## 令和2年度各部会の成果・課題と今後に向けて

部会名	令和2年度の実績・成果	課題・今後取り上げたいこと
障がい理解促進部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ますだ福祉マップ」の作成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ、まち歩きを実施</li> <li>・令和2年度中に冊子及びWEB版完成予定</li> </ul> </li> <li>○「障がい者週間」の啓発</li> <li>○「障がい者差別解消条例（仮称）」制定に向けた取組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期計画において条例制定に向けた取組み事を明示</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ますだ福祉マップ」の普及と定期的な見直し</li> <li>○啓発活動を引き続き実施。（新たな広告媒体も検討）</li> <li>○令和5年度末までに条例制定に向けた準備を行っていく。（市民に対して差別解消に繋がる具体的な方法を明記することが必要）</li> </ul>
就労・社会参加支援部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「障がい者就労支援事業所説明会」事業化について市長へ提言               <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度まで実施してきた説明会を市の予算にて実施できるよう提言</li> </ul> </li> <li>○「就労支援事業所」利用者等にアンケート作成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加（余暇やサークルなど）意向調査を実施予定</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○益田圏域内行政担当者の連絡会議等を定期開催し、圏域全てに予算化するよう働きかける。</li> <li>○令和3年度アンケートの実施、集計及び分析を行う。</li> <li>○余暇資源を掲載した情報紙（余暇活動資源マップ（仮称））を作成し、周知することを最終目標</li> </ul>
障がい福祉人材育成部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「益田市障がい福祉人材育成プラン」作成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に人材不足の中、益田市独自の計画を策定</li> <li>・主に新規人材確保より人材定着に注目し作成</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作成したプランを実行。PDCAサイクルを意識し取組みを進める。</li> </ul>



令和 2 年度 第 3 回益田市障がい者自立支援協議会 全体会  
(書面報告)【意見集約】

1. 令和 2 年度専門部会の成果・課題と今後に向けて (部活動報告)

【障がい理解促進部会】

- ・ 「ますだ福祉マップ」作成において、まち歩き点検を行った。整備されている部分も見受けられたが、まだまだ整備を必要とする部分も散見され、障がい者にとって危険箇所と思われる場所等、実際に目で見て感じる事ができた。行政への呼びかけ、地域住民の方々への協力の必要性があると思う。
- ・ 年度初め広報を通しての啓発について話ができましたが手話条例、協議会から市長に対する提言はおぼえていますが他にどんな広報をしたのでしょうか。
- ・ ますだ福祉マップの見直しも出来、とても実りある部会であった。

【人材育成部会】

- ・ 継続的な取り組みが必要。部会で形を整えた後、どこがするのかや、予算立てなどが今後の検討課題と考えます。
- ・ 人材育成はたいへん重要と思います。オンライン研修などを受けやすい体制づくりなど具体的に進めていただきたいと思います。

【その他】

- ・ 今後一層の「障がい者差別解消条例」制定の具体的な取組ができることを期待しています。
- ・ 日頃からの活動に対し、深く敬意を表します。
- ・ 回を重ねるごとに、支援する人目線から当事者のために・・・という姿勢が見えてきて嬉しく思った。当事者目線で・・・当事者の決定権。
- ・ コロナ禍において、各部会ともスタートが遅れ満足な活動ができなかったように思う。
- ・ 相談支援会議からの地域課題と部会での動きが連動していくとよいと思います。
- ・ 部会のみなさんと、これからの課題に向けて検討して行かないと、と思います。
- ・ 障がい者の理解を広めることは、これで終わりということはないので、障がい理解促進部会の継続は必要なことと思いますが、市障がい者基本計画、自立支援協議会における部会としての役割を今一度部会で話し合ってみてはと感じ

ています。

- ・ コロナ禍ではあったが、出来る限りのことは取り組めたように思います。

## 2. 令和3年度運営体制（協議会・部会の体制）

### 【「承認する」全員】

- ・ 理解促進の取組は、まだまだ必要と思います。多くの声に耳を傾け1つでも多く課題解決につながることを願います。

## 3. 【その他ご意見】

- ・ 障がい者に対する身近な要望で、具体的な要求に、例えば①商店等の入り口に車イス利用者、足の悪い人に「簡易スロープ」を市の助成で設置してもらいたい。②銀行、商店等の窓口カウンターに、目の不自由な人には「点字案内板」を、耳の不自由な人には「筆記ボード」を、市の助成で設置してもらいたい。※ある市では、障がい者のために、そういった簡易な物を低予算で設置、配布している自治体がある。
- ・ 以前と比べると、理解はかなり進んできたように感じますが、まだまだ充分であるとは思えません。今後も、地道な活動の必要性を感じます。そのために、活動されている関係者、団体、行政職員にたいして敬意を表します。
- ・ 障がい者福祉人材育成部会「第1期益田市障がい福祉人材育成プラン」を読んだ感想です。現場を知らず、見当違いな感想をお許してください。長期目標として「・・・育成と定着のための環境づくりをして離職者を減らし雇用の安定を図る」と掲げておられます。今は賃金が少なくても、やりがいと誇りが持てる職場に改善できれば、若い人の確保ができる可能性はあると思います。若い人もまんざらではないと思います。能力を持ったすばらしい人材も発掘できると思います。いくら優秀な人材を採用した有名企業でも職場の体制の改善が遅れ、生かしきれないところも多くあります。時代と共に価値観も変わるので、働き方も変える工夫が必要とされています。その点からも2年度の部会の成果・課題と今後に向けての中で新規人材より人材定着に注目してこられたことは、将来人材確保につながると思います。Ⅱ 問題点を勇気を持って掲げ、できるだけ公開すること。関係者だけでなく多くの人に実情を知ってもらい、支援してもらい機会が増えることが期待できると思います。特に福祉に関しては時間と用意周到な仕掛けが大切であると思います。それぞれの職場の特徴があり、外部に対して一部問題点を公開することに躊躇されることもありますが、実のある研修と施設の改善につなげてほしいと思います。定着しない原因を①自信のもてる専門的知識の習得とそれを職場で生かせる土壌づくり。職員の目標達成に向けてどのような職場の仲間づくりをするなど、さらに一歩踏

み込んだ研修が必要と思われます。研修—実践—評価—見直しの間隔を従来より縮める「見える化」につながると思います。計画の繰り越しは、気の緩みを誘発し職場の改善への緩みにつながる事例を多く聞かれるところであります。期待しております。

- 「ますだ福祉マップ」について、冊子、デジタルマップ共に見やすいものができあがったと思います。当事者の方が目にする機会があることも想定すると、使用する言葉や漢字のフリガナを付け足しなども検討していく事も良いのではないか。発達障がいの方の避難所生活を想定した場合、様々な刺激に対する対応の困難さから難しい点がでてきます。パーテーションの設置（コロナ対策も含め）デジタル耳栓等の準備（備蓄）が可能であれば、そういった情報も各施設の中に情報としてもりこまれると良いのではないか。
- それぞれでの部会での取組みが全体会で生かされ、意見交換や法人組織連携できるような有意義な場になることを望みます。
- 全体会でもう少し協議ができるとよいなと思います。報告だけで終わってしまうのはせっかく集まっていたいて、もったいない気がするのです。課題に対するグループワーク等があっても良いのかなと・・・。
- いろいろと勉強させていただきました。ありがとうございました。



## 第 6 期益田市障がい者福祉計画・第 2 期益田市障がい児福祉計画（概要）

## 1. 計画策定の趣旨

平成 30 年 3 月に、障害者総合支援法第 88 条第 1 項に基づく市町村障害福祉計画を策定した「第 5 期益田市障がい者福祉計画」及び児童福祉法第 33 条の 20 に基づく市町村障害児福祉計画を策定した「第 1 期益田市障がい児福祉計画」の計画期間が終了することから、これまでの進捗状況等を分析した上で、障がい福祉サービス等の必要量を的確に見込むとともに、その確保のための方策を定めた「第 6 期益田市障がい者福祉計画・第 2 期益田市障がい児福祉計画」を策定しました。

## 2. 計画の期間 令和 3 年度～令和 5 年度（3 年間）

## 3. 計画策定の主なポイント（基本的理念）（安心いきいきプラン P 45）

計画の策定に当たっては、国の「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針」（基本指針）における、次の 7 つの基本的理念を踏まえ、策定しています。

- (1) 障がい者等の自己決定の尊重と意思決定の支援
- (2) 身近な市を実施主体とする障がい種別によらない一元的な障がい福祉サービスの実施等
- (3) 入所等から地域生活への移行、地域生活の継続の支援、就労支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備
- (4) 地域共生社会の実現に向けた取組
- (5) 障がい児の健やかな育成のための発達支援
- (6) **障がい福祉人材の確保 【※新規追加】**
- (7) **障害者の社会参加を支える取組 【※新規追加】**

なお、本市の最上位計画である「益田市総合振興計画」を始め、福祉分野の上位計画である「益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」や「益田市老人福祉計画・益田市介護保険事業計画」などと整合性を図り、策定しています。

## 4. 基本目標（安心いきいきプラン P 45～P 48）

基本指針に基づき、計画最終年度である令和 5 年度の数値目標（成果目標）として、次の 8 項目を設定しています。

- (1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行
- (2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

- (3) 地域生活支援拠点等が有する機能の充実
- (4) 福祉施設から一般就労への移行
- (5) 障がい児支援の提供体制の整備等
- (6) **相談支援体制の充実・強化等 【※新規追加】**
- (7) **障がい福祉サービス等の質を向上するための取組に係る体制の構築 【※新規追加】**

#### 5. 施策の方向性 (安心いきいきプランP49～P55)

上記の数値目標を達成するため、**2 障がい福祉サービス、障がい児福祉サービスの見込量**と**3 必要な見込量の確保のための方策**、**第3章 地域生活支援事業**において、活動指標として、事業ごとのサービス見込量等を定めています。

なお、見込量等の算定については、県の質疑応答により、新型コロナウイルス感染症拡大前の状況で実施することとしており、本市においても、これに基づき、見込み量等の算定をしています。

#### 6. 計画の推進体制 (安心いきいきプランP7)

- ・計画の進捗状況は、事業ごとの「実績・計画」に基づいて管理する。
- ・計画の進捗状況の報告及び評価は、益田市障がい者自立支援協議会を主体として推進していきます。

令和3年7月22作成

1 障がい福祉サービス等の数値目標

(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行

(単位:人)

施設入所者数							地域生活移行者数			<参考>	
H28年度末 時点 ①	R2年度末 時点 ②	目標	実績				目標	実績		新規入所者	
		(R2年度末) ①-②	H31.4.1	R2.4.1	R3.3.31 ③	削減人数 ①-③	(R2年度末)	R元年度	R2年度	(R元年度)	(R2年度)
89	87	2	87	85	88	1	9	0	0	2	4

評価	現状分析・計画達成のための課題
C	在宅サービスの量的・質的充実が必要

※評価欄 (A:目標を上回った、B:概ね目標どおり、C:目標を下回った、D:目標を大きく下回った) 以下同じです

(2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

(単位:箇所)

	目標 (R2年度末)	R2年度 実績	評価	現状分析・計画達成のための課題
保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置	1	1	B	

(3) 地域生活支援拠点等の整備

(単位:箇所)

	目標 (R2年度末)	実績		評価	現状分析・計画達成のための課題
		R元年度	R2年度		
地域生活支援拠点等	1	0	0	B	令和2年度の協議により、令和3年4月1日から設置

(4) 福祉施設から一般就労への移行等

	R2年度 実績
就労移行事業所等を通じて、一般就労する者の数	6

(5) 障がい児支援の提供体制の整備等

(単位:箇所)

	目標 (R2年度末)	R2年度 実績	評価	現状分析・計画達成のための課題	
児童発達支援センター	1	0	C		
保育所等訪問支援	1	1	B		
主に重症心身障がい児を支援する	児童発達支援事業所	1	0	C	
	放課後等デイサービス	1	0	C	
医療的ケア児のための協議の場の設置	1	0	C	コロナ対応等により、開催できなかった	

## 2 障害福祉サービス、障がい児福祉サービスの見込量

### (1) 訪問系サービスの月ごとの見込量

		H30年度		R元年度		R02年度		評価	現状分析・計画達成のための課題
		時間	人	時間	人	時間	人		
居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援	見込	1,165	110	1,281	121	1,410	133	B	
	実績	1,174	100	1,148	106	1,075	110		
	達成率	100.8%	90.9%	89.6%	87.6%	76.2%	82.7%		

### (2) 日中活動系サービスの月ごとの見込量

		H30年度		R元年度		R02年度		評価	現状分析・計画達成のための課題
		人日	人	人日	人	人日	人		
生活介護	見込	3,159	196	3,222	198	3,287	199	B	
	実績	3,162	189	3,061	191	3,088	182		
	達成率	100.1%	96.4%	95.0%	96.5%	93.9%	91.5%		
自立訓練（機能訓練）	見込	-	-	-	-	-	-	A	
	実績					1	1		
	達成率	-	-	-	-	-	-		
自立訓練（生活訓練）	見込	168	12	168	12	168	12	C	
	実績	71	6	85	6	56	8		
	達成率	42.3%	50.0%	50.6%	50.0%	33.3%	66.7%		
就労移行支援	見込	85	5	98	7	113	9	C	
	実績	79	5	28	2	40	5		
	達成率	92.9%	100.0%	28.6%	28.6%	35.4%	55.6%		
就労継続支援（A型）	見込	982	48	1,021	50	1,062	52	A	
	実績	855	41	886	44	841	53		
	達成率	87.1%	85.4%	86.8%	88.0%	79.2%	101.9%		
就労継続支援（B型）	見込	2,241	125	2,331	128	2,424	131	A	
	実績	2,508	130	2,373	129	2,352	155		
	達成率	111.9%	104.0%	101.8%	100.8%	97.0%	118.3%		
就労定着支援	見込	-	-	0	2	0	2	A	
	実績			2	1	2	2		
	達成率	-	-	-	50.0%	-	100.0%		
療養介護	見込	-	20	-	20	-	20	A	
	実績		19		20		20		
	達成率	-	95.0%	-	100.0%	-	100.0%		

## (2) 日中活動系サービスの月ごとの見込量

		H30年度		R元年度		R02年度		評価	現状分析・計画達成のための課題
		人日	人	人日	人	人日	人		
短期入所（福祉型）	見込	153	23	154	23	156	23	A	
	実績	220	31	187	34	182	30		
	達成率	143.8%	134.8%	121.4%	147.8%	116.7%	130.4%		
短期入所（医療型）	見込	16	2	16	2	16	2	A	
	実績	24	2	4	2	5	2		
	達成率	150.0%	100.0%	25.0%	100.0%	31.3%	100.0%		

## (3) 居住系サービスの月ごとの見込量

		H30年度		R元年度		R02年度		評価	現状分析・計画達成のための課題
		人	定員数	人	定員数	人	定員数		
共同生活援助 （グループホーム）	見込	100	-	110	-	121	-	A	
	実績	94	118	95	108	116	109		
	達成率	94.0%	-	86.4%	-	95.9%	-		
施設入所支援	見込	88	-	88	-	87	-	A	
	実績	87		86		88	-		
	達成率	98.9%	-	97.7%	-	101.1%	-		
自立生活援助	見込	-	-	1	-	2	-	C	
	実績			0	0	0	0		
	達成率	-	-	-	-	-	-		

## (4) 相談支援の月ごとの見込量

		H30年度	R元年度	R02年度	評価	現状分析・計画達成のための課題
		人	人	人		
計画相談支援	見込	111	113	116	A	
	実績	113	133	137		
	達成率	101.8%	117.7%	118.1%		
地域移行支援	見込	2	2	3	C	
	実績	1	1	0		
	達成率	50.0%	50.0%	-		
地域定着支援	見込	4	4	4	C	
	実績	3	2	1		
	達成率	75.0%	50.0%	25.0%		

## (5) 障がい児通所サービスの月ごとの見込量

		H30年度		R元年度		R02年度		評価	現状分析・計画達成のための課題
		人日	人	人日	人	人日	人		
児童発達支援	見込	80	28	87	30	87	30	B	
	実績	92	31	94	27	79	20		
	達成率	115.0%	110.7%	108.0%	90.0%	90.8%	66.7%		
放課後等デイサービス	見込	1,320	127	1,386	134	1,455	140	A	
	実績	1,135	130	1,184	138	1,174	140		
	達成率	86.0%	102.4%	85.4%	103.0%	80.7%	100.0%		
保育所等訪問支援	見込	6	6	9	9	14	14	B	
	実績	5	5	5	5	4	4		
	達成率	83.3%	83.3%	55.6%	55.6%	28.6%	28.6%		
居宅訪問型児童発達支援	見込	-	-	-	-	-	-	-	
	実績								
	達成率	-	-	-	-	-	-		
医療型児童発達支援	見込	-	-	-	-	-	-	-	
	実績								
	達成率	-	-	-	-	-	-		
障がい児相談支援	見込	-	32	-	33	-	35	A	
	実績		37		39		35		
	達成率	-	115.6%	-	118.2%	-	100.0%		

# 1 地域生活支援事業の見込量

[必須事業]

	単位		H30年度	R元年度	R02年度	評価	現状分析・計画達成のための課題
1 理解促進研修・啓発事業	(有=1 無=0)	見込	1	1	1	A	
		実績	1	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
2 自発的活動支援事業	(有=1 無=0)	見込	1	1	1	B	
		実績	0	1	0		
		達成率	-	100.0%	-		
3 相談支援事業							
(1) 障害者相談支援事業(実施箇所数)	箇所	見込	5	5	5	A	
		実績	5	5	5		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
基幹相談支援センターの設置	(有=1 無=0)	見込	1	1	1	A	
		実績	1	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
(2) 基幹相談支援センター等機能強化事業	(有=1 無=0)	見込	1	1	1	A	
		実績	1	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
(3) 住宅入居等支援事業	(有=1 無=0)	見込	1	1	1	A	社会福祉協議会が実施する「入居債務保証支援事業」で同様の支援を実施している。
		実績	1	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
4 成年後見制度利用支援事業(実利用者数)	人	見込	1	1	1	B	
		実績	2	3	0		
		達成率	200.0%	300.0%	-		
5 成年後見制度法人後見支援事業	(有=1 無=0)	見込	-	1	1	B	
		実績	0	0	0		
		達成率	-	-	-		

1 地域生活支援事業の見込量

	単位		H30年度	R元年度	R02年度	評価	現状分析・計画達成のための課題
6 意思疎通支援事業							
(1) 手話通訳者設置事業(実設置者数)	人	見込	4	4	4	A	
		実績	4	4	4		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
(2) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業(実利用件数)	件	見込	150	162	175	B	
		実績	156	167	131		
		達成率	104.0%	103.1%	74.9%		
(3) 入院時コミュニケーション支援	件	見込	2	2	2	B	
		実績	0	2	0		
		達成率	-	100.0%	-		
7 日常生活用具給付事業							
(1) 介護・訓練支援用具	件	見込	2	2	2	B	
		実績	3	1	4		
		達成率	150.0%	50.0%	200.0%		
(2) 自立生活支援用具	件	見込	13	13	13	B	
		実績	7	5	6		
		達成率	53.8%	38.5%	46.2%		
(3) 在宅療養等支援用具	件	見込	10	10	10	B	
		実績	7	3	7		
		達成率	70.0%	30.0%	70.0%		
(4) 情報・意思疎通支援用具	件	見込	12	12	12	B	
		実績	13	8	8		
		達成率	108.3%	66.7%	66.7%		
(5) 排泄管理支援用具	件	見込	1,130	1,130	1,130	B	
		実績	1,011	1,118	1,083		
		達成率	89.5%	98.9%	95.8%		
(6) 居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	件	見込	2	2	2	B	
		実績	0	1	0		
		達成率	-	50.0%	-		
8 手話奉仕員養成事業(講習修了者数)	人	見込	30	30	30	B	2年間で終了するため(受講者数は23人)
		実績	0	13	0		
		達成率	-	43.3%	-		

1 地域生活支援事業の見込量

	単位		H30年度	R元年度	R02年度	評価	現状分析・計画達成のための課題
9 移動支援事業 (上段:実利用者数、下段:延べ利用時間数)	人	見込	70	75	75	A	
		実績	63	53	59		
		達成率	90.0%	70.7%	78.7%		
	時間	見込	1,830	1,850	1,850	A	
		実績	4,207	3,560	2,946		
		達成率	229.9%	192.4%	159.2%		
10 地域活動支援センター (上段:実施箇所数、下段:実利用者数)	箇所	見込	2	2	2	A	
		実績	2	2	2		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	人	見込	130	135	140	B	
		実績	103	98	81		
		達成率	79.2%	72.6%	57.9%		

〔任意事業〕

11 生活訓練等事業	件	見込	23	23	23	-	島根県の事業に引継
		実績	30	23	-		
		達成率	130.4%	100.0%	-		
12 日中一時支援事業 (上段:箇所数、下段:延べ利用時間数)	箇所	見込	10	10	11	A	
		実績	9	10	10		
		達成率	90.0%	100.0%	90.9%		
	時間	見込	2,300	2,300	2,300	A	
		実績	2,960	3,857	3,716		
		達成率	128.7%	167.7%	161.6%		
13 点字・声の広報等発行事業	件	見込	22	22	22	A	
		実績	20	24	24		
		達成率	90.9%	109.1%	109.1%		
14 手話奉仕員、要約筆記奉仕員研修事業 (上段:手話奉仕員登録者数、下段:要約筆記登録者数)	手話奉仕員登録者数	見込	50	50	60	A	
		実績	51	65	48		
		達成率	102.0%	130.0%	80.0%		
	要約筆記登録者数	見込	21	21	25	B	
		実績	18	18	17		
		達成率	85.7%	85.7%	68.0%		

1 地域生活支援事業の見込量

	単位		H30年度	R元年度	R02年度	評価	現状分析・計画達成のための課題
15 自動車運転免許取得・改造助成事業	件	見込	2	2	2	B	
		実績	5	4	0		
		達成率	250.0%	200.0%	-		